

## 遺伝医療室活動報告 第1報

浦田 由香<sup>1)2)</sup> 大久保久美子<sup>1)3)</sup> 井上 貴仁<sup>1)4)</sup>  
吉里 俊幸<sup>1)5)</sup> 中川 尚志<sup>1)6)</sup> 菅村真由美<sup>1)6)</sup>  
池上由美子<sup>1)7)</sup> 高倉智恵子<sup>1)2)</sup> 調 優子<sup>1)4)</sup>  
小野 順子<sup>1)3)</sup>

- 1) 福岡大学病院遺伝医療室
- 2) 福岡大学病院看護部
- 3) 福岡大学医学部臨床検査医学
- 4) 福岡大学医学部小児科
- 5) 福岡大学病院総合周産期母子医療センター
- 6) 福岡大学医学部耳鼻咽喉科
- 7) 福岡大学病院臨床検査部

要旨：2003年8月に関連10学会により遺伝子検査に関するガイドラインが作成され、適切な遺伝医療を実施する体制整備が求められた。福岡大学病院遺伝医療室は、2005年4月個人情報保護法が施行となることを受け、設立された。遺伝医療室は、臨床遺伝専門医、遺伝医療室担当看護師、臨床心理士、および臨床検査技師から構成され、遺伝や遺伝病についての悩みや不安を持ったクライアントと家族を対象に、遺伝相談を行いクライアントの自律した意思決定を支援している。遺伝相談は、第3週を除く金曜日の午後、実施しており、本稿では、遺伝医療室開設後14ヶ月の活動内容について報告する。

キーワード：遺伝医療室，遺伝相談，カウンセリング，電話訪問